

日中共同研究この1年



2005年2月10日

野口 邦男

Summary

- (1) 訪中、訪日の記録
- (2) 観測を基盤とした日中共同研究の進展
 - 2-1 OAOへの観測申請
 - 2-2 興隆観測所への観測申請
- (3) 観測スケジュール
- (4) CES-CCDのグレードアップ
- (5) CES用のI2セルフィルターの制作、設置、試験観測
- (6) カセグレン焦点からの光ファイバーによるCESへの光導入
- (7) 興隆観測所のNew Guest-House の完成
- (8) LAMOST建設の進展



2004年8月



2004年10月



2003年11月

(1) 訪中、訪日の記録

(1) 訪中、訪日の記録

2003/11/3-7 訪問者: 野口 (興隆観測所)

- a) CESの検出器のグレードアップについて打ち合わせ
- b) この後, Kodak-CCDを購入して中国へ送る。
中国でCCDの性能評価

2004/3/22-27 野口、神戸 (興隆観測所)

- a) Kodak-CCDの性能評価結果を聞く。
- b) CESに、I2セルフフィルターを導入するための調査をする。

2004/8/13-19 野口、神戸、佐藤 (興隆観測所)

- a) CESに、I2セルフフィルターを設置して試験データを取得する。
CESの安定性の調査。

2004/10/24-31 安藤、野口、神戸、佐藤 (興隆観測所)

- a) 惑星探査の試験的観測を行う。

2004/10/30-11/11 陳、劉 (岡山観測所、国立天文台三鷹)

- a) HIDESを用いたスペクトル観測

(2) 観測を基盤とした日中共同研究の進展

ＯＡＯと興隆観測所双方での英文による観測申請の実現

2-1 OAOへの観測申請

2004/4 3件

- * Abundance difference of young and old metal-rich stars : Chen et al.
(2004/11/2-7) 採択
- * Abundances of an unbiased large sample of K dwarf stars for understanding the chemical evolution of the Galaxy: Liu et al.
- * High-Resolution Spectroscopic Observation of interstellar NaI and CaII absorption lines: Li et al.

2004/10 1件

- * Abundance Difference of metal-rich stars: Chen et al.
(2005/4/27-5/3) 採択

2-2 興隆観測所への観測申請

2003/10 1件

- * 高分散分光? : 野口 et al.
(2004/10/26-28)

2004/10 4件

- * Search for Extrasolar Planets around G-type Giants: Sato et al.
(2005/2/18-24) (2005/5/20-26) (2005/9/16-22) 21 nights
- * Zinc abundance in metal-poor stars: Saito & Hidai
(2005/2/25-28) (2005/6/17-23) 11 nights
- * Radial Velocity Measurements of Carbon Stars of Type J: Izumiura et al.
(2005/3/19-21) (2005/7/19-21) 6 nights
- * Rubidium isotopic ratio in interstellar media with high dispersion spectra:
Kawanomoto et al.

(3) 観測スケジュール

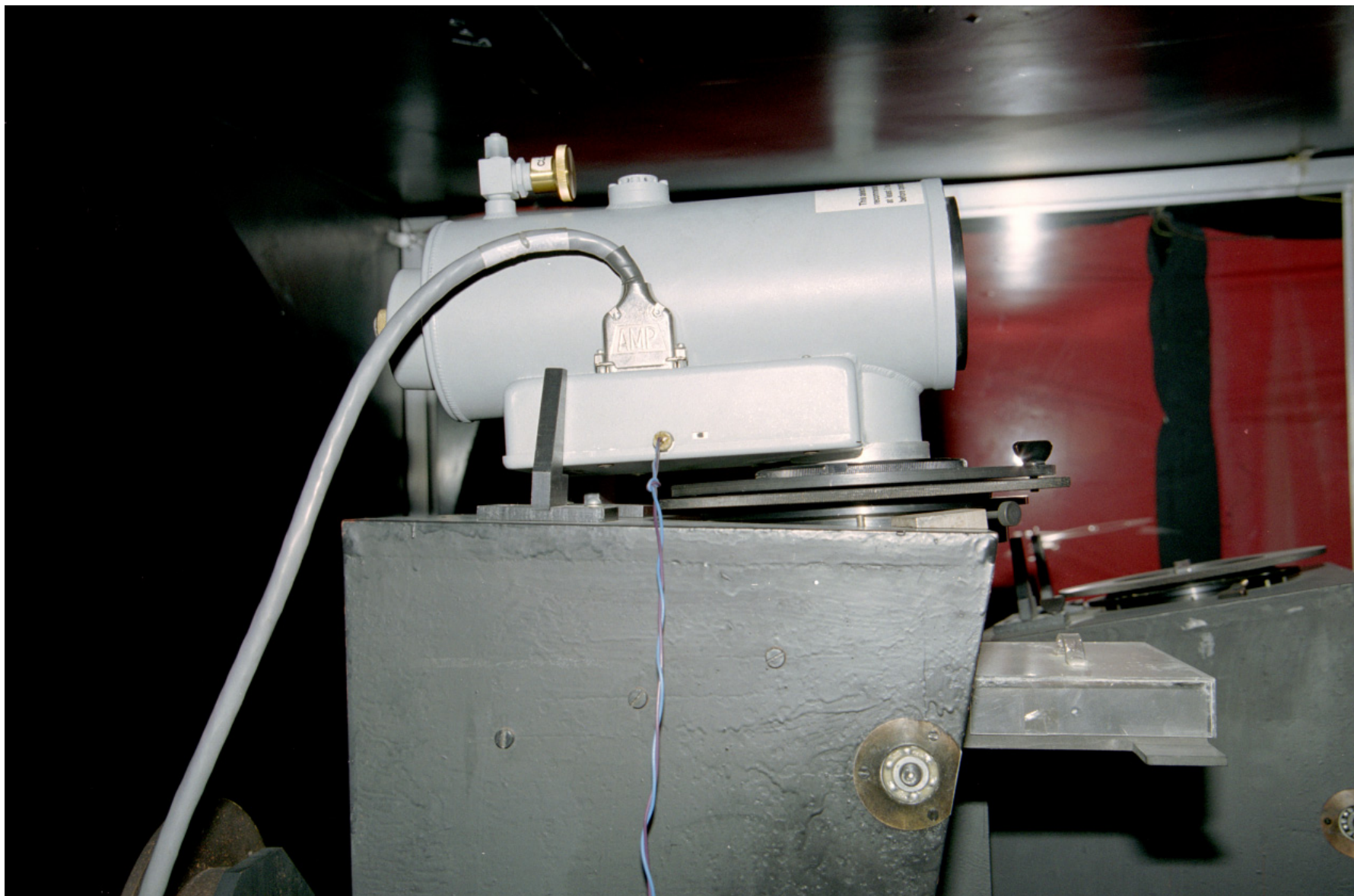
Date	OA○	興隆観測所	三鷹
2004/10/26-28		安藤、野口、神戸、佐藤	
2004/11/2-7	陳、劉		
2005/2/18-24		佐藤	
2/25-28		(斉藤、比田井)	
3/19-21		泉浦	
3/28-4/6			姜、王
4/27-5/3	陳、?		
5/20-26		佐藤	
6/17-23		斉藤、比田井	
7/19-21		泉浦	
9/16-22		佐藤	

(4) CES－CCDのグレードアップ

- a) 2004／1 : Kodak Blue－Plus CCDを中国へ
(2kx2k: 24 μ mピクセル)
- b) 2004／2: CCDの性能評価
- c) 2004／5／26: 上海天文台所有の SITE(2kx2k)の
導入の提案が中国側から出された
- d) 2005／1／17: SITE(2kx2k)をあきらめるとの返事。
理由: * ノイズが大きい(x5－10)
 * 4 bad columns
 * 汚れている
- e) Fairchildの CCD486(4kx4k: 15 μ mピクセル)
の導入を検討している。



2003年11月



2003年11月

(5) CES用のI2セルフィルターの制作、設置、試験観測

a) 2004／8に設置して、較正用光源でテストスペクトルを得た。

b) 2004／10 天体の試験観測を実施した。

試験観測結果：

* τ Cet (G8V, $V=3.5$) S/N $\sim$ 300

* $\sigma \sim 16.5\text{m/s}$ (3nights)

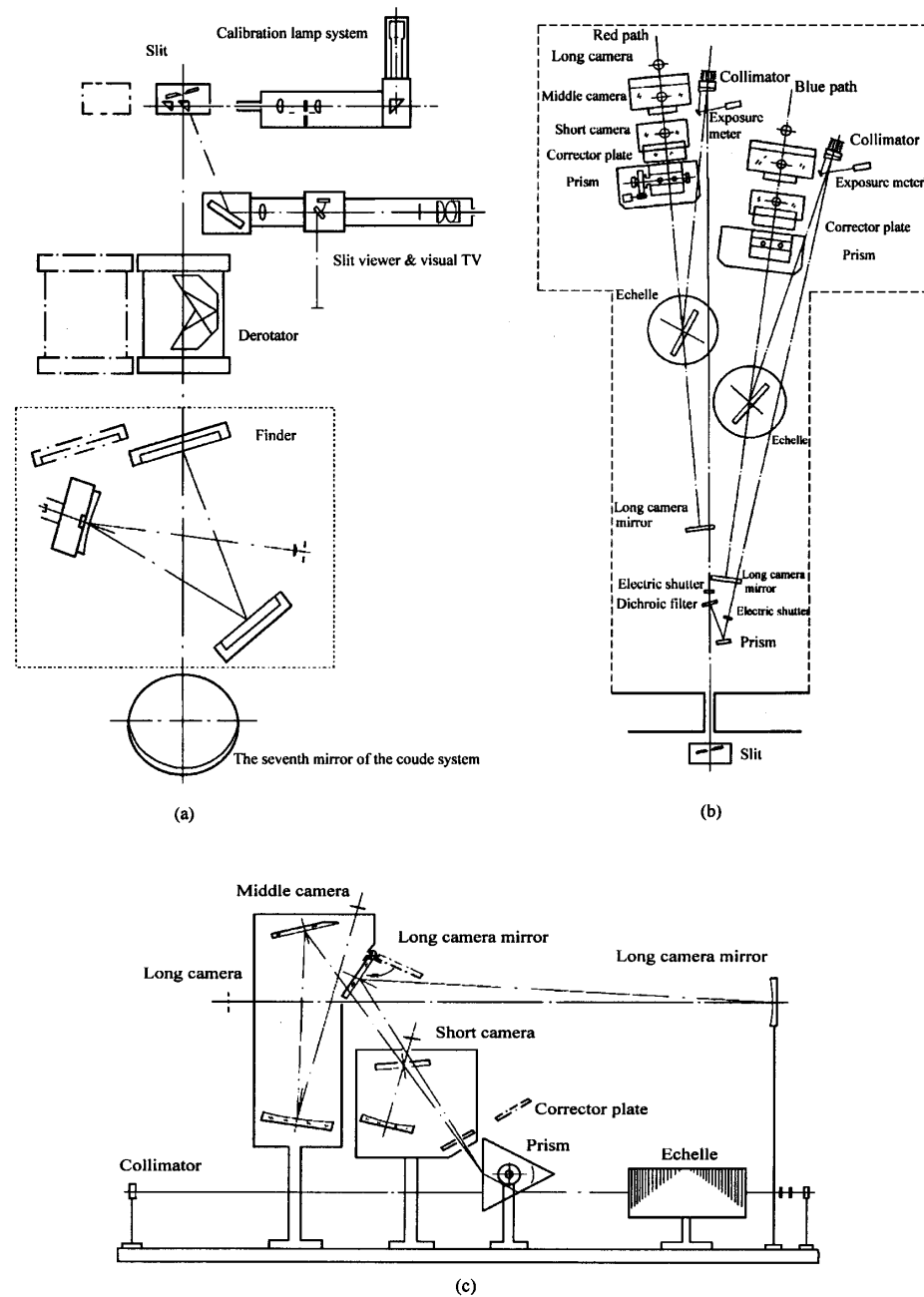


Fig.1 Optical layout of the NAO coude echelle spectrograph (a) top view of NAOCES optical layout before slit; (b) top view of NAOCES optical layout after slit; (c) side view of NAOCES optical layout after slit.



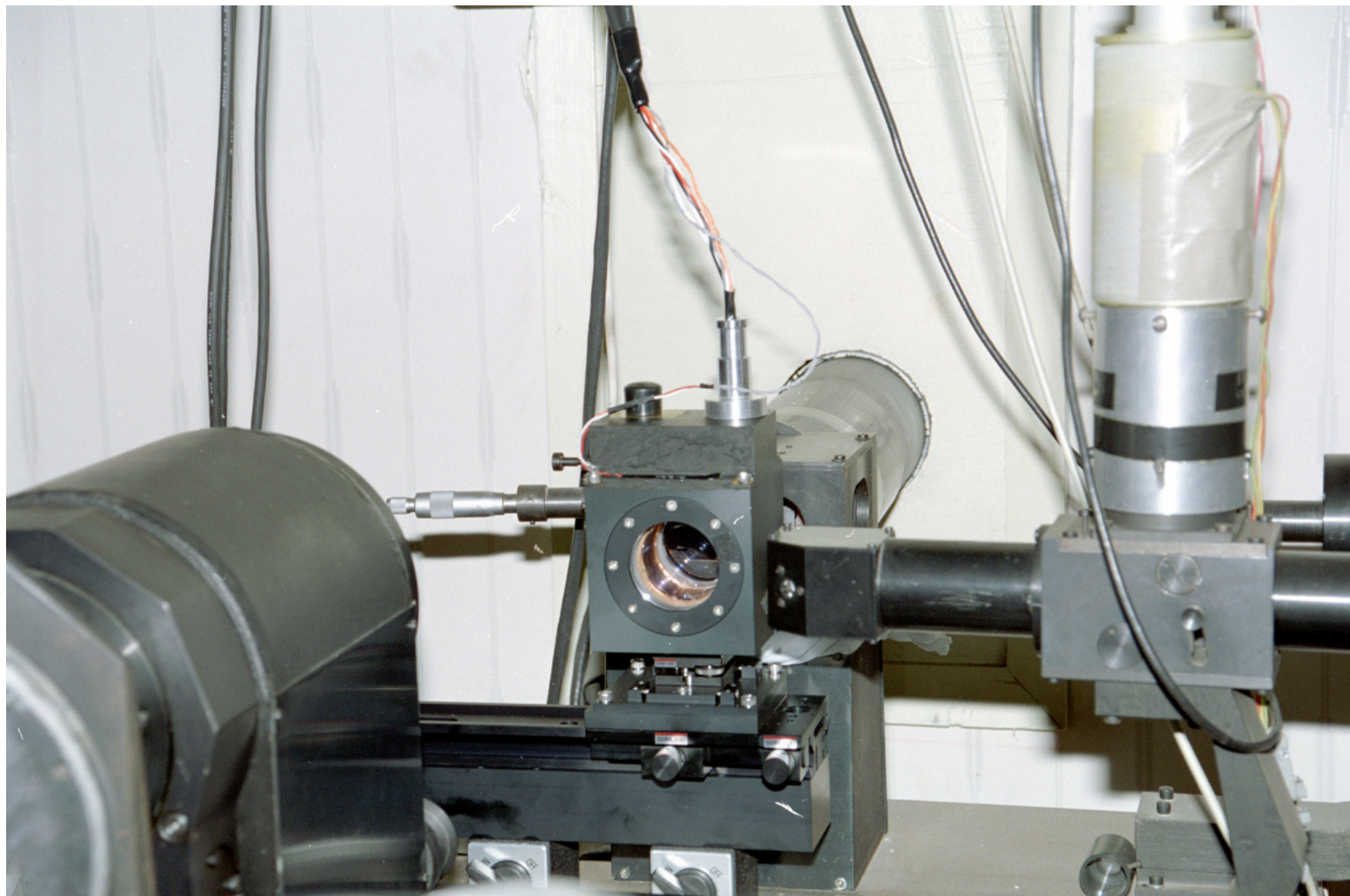
2003年11月



2003年11月



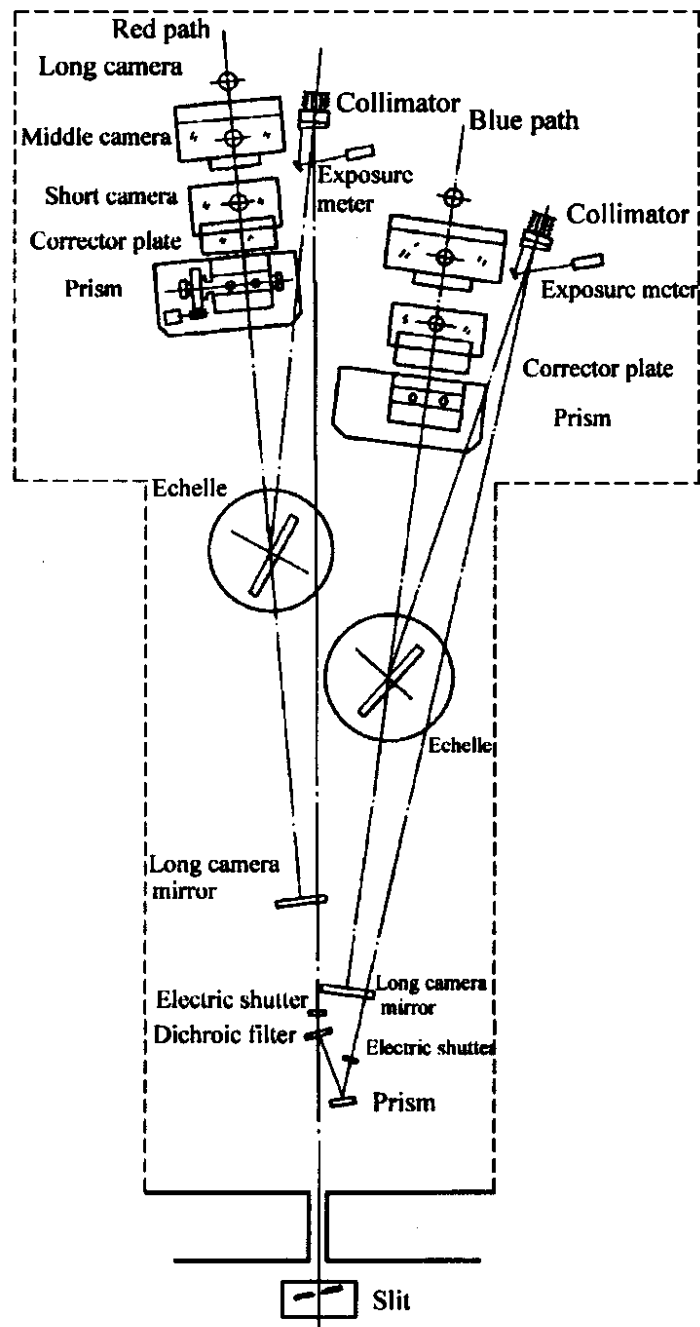
2003年11月



2004年8月

(6) カセグレン焦点からの光ファイバーによるCESへの光導入

- a) 2005／1／18 に試験観測を行うとの報告があった。



(7) 興隆観測所のNew Guest Houseの完成





2004年8月



2003年11月



2003年11月



2004年8月



2004年8月

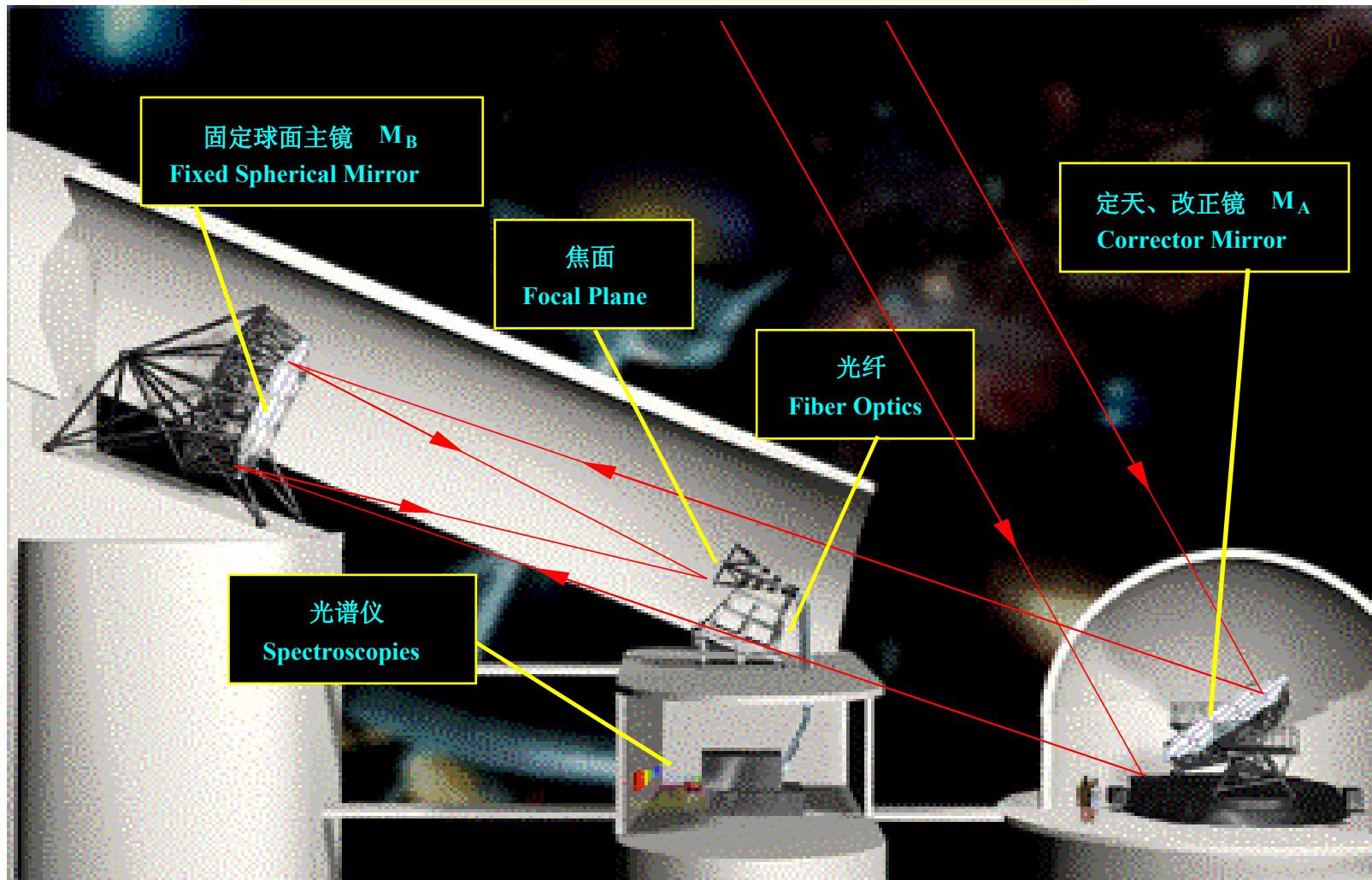


2004年8月

(8) LAMOST 建設の進展

2007年のファーストライトに向けて

LAMOST望远镜示意图







2003年11月



2004年8月



2004年8月



2004年10月